

平成22年度 宇多津中学校 文化祭  
共奏～届けようみんなで作る音の花



宇多津中学校文化祭

## Contents

平成22年第3回定例会 .....	2	3
一般質問・研修報告 .....	4	7
研修報告 .....	7	9
議会日誌・編集後記 .....	10	

### うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

## 平成22年 第3回定例会



平成22年第3回定例会は9月7日から9月16日まで開催され、決算認定8件、議案7件、継続審査1件、その他2件を審議した。また、一般質問は2日間に渡って開かれ8人が登壇し、「景観計画の策定」「自治会に設置している消火器の活用」「早急なゲリラ豪雨対策を」「新水族館の経済波及効果調査報告書について」「歪む学校給食、職員ゼロと偽装請負が起因か」「十楽寺町営住宅地区内の町道」「宇多津小学校校区に児童館の建設を」「少人数学級への対応と中学校増築での思案は」などについて議論が交わされました。

### 主な内容

#### 認定

- ・平成21年度一般会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成21年度水道事業会計決算認定

全会一致で継続審査

以上全て全会一致で決算認定

補正予算

・平成22年度一般会計補正予算(第3号)

全会一致で可決

(内容) 1億9、454万円を追加し総額62億5、741万円とした。

・平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

全会一致で可決

・平成22年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

全会一致で可決

―一般会計補正予算の主な事業内容

○新都市地区内町道の車線規制標と防犯カメラの設置事業に550万円

○かがわこどもの駅認定設置事業に580万円

(海ホタル、ユープラザ、キッズプラザほか)

○商工振興策としてプレミアム商品券補助事業に500万円

○住宅用火災報知機の設置補助事業に370万円

条例改正

・公告式条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

(内容) 町公告掲示板の掲示場所を一部変更するため

・企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づき準則を定める条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

(内容) 企業立地重点促進区域に香川県が分譲している番の州工業団地内の土地を追加するため

・都市公園条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

(内容) 網の浦万葉公園を都市公園として位置づけ管理するため

請負契約

・平成22年度公共下水道岩屋地区污水管梁築造工事請負契約の締結

全会一致で可決

(内容) 指名競争入札の結果、5、328万円で清水建設(株)四国支店(高松市)が受注

宇多津町議会主催

第2回全国コンパクトタウン議会

サミット開催及び傍聴のおしらせ

日時 平成22年11月11日(木)午後1時30分開会

場所 宇多津町保健センター4階 大会議室

参加者 全国で面積15平方キロメートル未満の自治体(神奈川県寒川町、岐阜県岐南町、三重県川越町、福岡県志免町、香川県琴平町及び宇多津町議会議員)

内容

講演会 講師 名城大学教授 海道清信氏

演題 「コミュニティが支える安心できる 豊かなまちづくり」

テーブル会議

議題 「コンパクトタウンにおける 生活交通手段を考える」

傍聴のおしらせ

※講演会・テーブル会議は、当日受付後、傍聴することができます。

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日(12月定例会では11月30日)までの受付とし、それ以降は次回の定例会の取り扱いとさせていただきます。

Q&A

自治会に設置している  
消火器の活用について



池田弘昌 議員

**Q** それぞれの自治会で防災クラブは出来ていますか。

町内一斉の防犯パトロールが行われましたか。消火器は火災の際、初期消火に使うもので、置き場所の検討をしてもらいたいと思います。

**A** 谷川総務課長

山下地域におきましては、防犯活動の中で防犯、防災に関する意見交換や情報の共有が行われているとのこと、大変すばらしく、行政としても心強く感じています。消火器の件ですが、地域の実情によっては、その保管方法は様々であろうという事は感じていますが、ぜひ自治会の中で話し合われるよう、実働的な場所を選定を頂くように感じているところです。なお、その自治会の方々におきましては、再度設置について、いざという時に使用できる様な配置場所について、実働的な選定場所を再度お願いしたいと考えております。

**Q** 上水道について

県の上水を鍋谷から平山の貯水タンクに送る送水管工事はいつ始まるのですか。県の工事が出来てから町の耐震用の送水管工事をすの説明があり、なぜ同時に行わないのですか。

**A** 中村水道課長

地元企業の育成・支援の観点に立ち、県道富熊宇多津線から十楽寺に抜ける町道長縄手旧県道線を町単独事業としたところです。併せて県道富熊宇多津線は、沿線の各家々への給水管引き込み工事を分離発注とし、町単独事業として予定しています。県との合併工事方式の県道富熊宇多津線部分、及び鍋谷地区の丸亀市との境界付近から町道長縄手旧県道線では、10月下旬から工事着手の予定です。ただ町道長縄手旧県道線区間の県の単独工事は少し遅れると聞いています。なお町道長縄手旧県道線の町単独事業部分は10月中旬頃から工事着手の予定です。

早急なゲリラ豪雨対策  
を



青木義勝 議員

**Q** ゲリラ豪雨により、町内の同じ地域に3度も被害が出た。一日も早い対策が待たれていない。また、国は「深層崩壊マップ」を発表した。豪雨時や震災時、本町の青の山、聖通寺山の急傾斜地や三つ岩の安全性は。

今のところ雨水計画全体の見直しは難しいと考えますが、浸水被害を受けた網の浦地区をピンポイントとして対策を講じたい。併せて網の浦地区雨水管の現状調査と清掃を行います。

**A** 中村水道課長

町内の急傾斜地として14箇所を調査しています。その内、整備が完了しているのが6箇所です。また、県が「土砂災害防止法」により、現地調査を行い、一定の区域を指定して制限を加えていく予定です。

**A** 松井建設課長

三つ岩等の安全性についての判断は非常に難しく、実際に調査を行って数字上の答えは出ても、100%の安全は確保できないと思われま。

**Q** 高齢者不明問題について

敬老の日を前にして、全国で続々と不明高齢者が発覚。なぜこのような問題が起こるのか「住民基本台帳管理」の問題だ。個人情報保護法の壁もあるが更なる民生員や見守り隊の活動支援を。

**A** 藤原住民生活課長

住民票の問題というより死亡届が出ていなかったり、出ていても何らかの理由で削除が出来ていなかった、ということがございます。今後は各々の事案を想定し、調査漏れのないよう確実な調査を行い、法務局の指導の下、然るべき処置を行いたいと思います。

**A** 亀井保健福祉課長

今後、現状の高齢者や社会的弱者への見守り活動などを引き続き行いながら、更に町の関係部署が連携をし、活動をしたいと考えます。また、日々過ごす身近な地域コミュニティの中で、人と人との触れ合いと支え合いの環境の醸成といった取り組みも必要かと考えています。

## 新水族館の経済波及効果 調査報告書について



藍川佳津樹 議員

**Q** 先般、標記について議員総会で説明があり、その内容については、ほぼ歓迎され得るものとなっているが、376万5千円をかけたこの結果を誘致促進のために、どのように活用するか、お伺いします。

**A** 谷川町長

経済効果や、その効果が県内外の広範囲に及ぶことが想定されることから、県民の、或いは県を挙げての水族館といった意味合いを有するものと考えます。

その様な基本的な考えの下、今後、水族館の開設に向け、中心的な役割を担うと思われる企業への早期実現に向けた働きかけや、県からの企業誘致に関する助成制度を始め、県民挙げての水族館といった機運の醸成などの支援が得られるよう県へ働きかけを行う中で、当該成果を活用したいと考えます。

また、先般水族館誘致にご署名を頂いた方々へのご報告の資料としても活用してまいります。

**Q** 合併処理浄化槽補助制度の取扱いについて

今年の4月1日に公共下水道認可区域への新規編入により、合併浄化槽の補助金が受けられなくなった宅地購入者に対し何らかの緩和措置とか暫定的な取扱いをすべきではないか。

**A** 藤原住民生活課長

ご指摘のとおり、年度の違いで同じ分譲地の中で、ある人は補助金の対象となり、ある人は対象とならないという、当事者にとつてはある意味で不合理で、厳しい現実も生じています。

また、今後も事業認可区域の変更に伴い、同様の事態が生じることも予想されます。

従って、このような事態を解消するため、支給対象地域であったものが事業認可区域に変更された場合、その変更の指定のあった年度及び次年度の申請に限り、町単独事業による緩和措置を図ってまいります。

## 歪む学校給食 職員0（ゼロ） と偽装請負が起因か



井原猛雄 議員

**Q** 宇多津中学校493人が7月7日給食を食べ、生徒・教員32人が体調不良の発熱・頭痛を訴え、病院は化学物質のアレルギー症と診断。中毒の原因は坂出市内の鮮魚店が他の魚を売りながら鱈の三枚卸を料理したのは偽装請負ではないか。

総額42億円の20年契約で行うPFI方式の学校給食は栄養士唯一人で他24人は細切れパート雇用了。給食は住民と密接に関わる分野であり、ゼロ職員は谷川実町長の政治姿勢を問うものである。

**A** 合田教育次長

給食センター運営にあたり24名全員がパートということですが、この人数につきましては事業者の判断の中で雇用しているものであります。

現在24名おりますが、そのうち7名が事業者企業の社員・準社員であり、17名が契約社員として給食の調理、製造、給食の配送、食器の洗浄などの業務を行っております。

また、栄養教諭につきましては宇多津小学校在中の先生でありますが、給食を調理するにあたり、厨房の中に入り事業者側に指導しながら調理しております。

偽装請負の件ですが、当町の場合は、行政と事業者が業務の役割を明確にしてお互いに管理・監督の下、運営をしておりますので、それには当てはまらなないと考えます。



Q&A

十楽寺町営住宅地区内の町道について

Q

住民によると通勤時間帯に下り坂を速いスピードで行って行く車が多いと聞く。歩行者はそのような車に横切られると命の危険を感じるはずだが、事故が起こる前に速度制限の標識又は路面表示などを設置してほしい。

A

藤原住民生活課長

ご指摘の状況につき自治会長、沿線住民の方、新しく建った住民の方々のお話をお伺いしてきました。そのお話の中では危険な状況については今確認ができておりません。ただごく少数、1台か2台の車が危険な運転をしている可能性もありますので今後自治会から情報を頂いたり、調査を行って詳しい状況を把握したいと思っております。その上で危険な状況が確認できれば、交通指導員の配置や標識の設置など対策を講じていきたいと思っております。



Q

防災知識の普及について

災害時に下敷きになった被災者が外傷なく救出された後、死亡する場合があります。原因の多くがクラッシュ症候群の発症だが、これに対する知識の啓発活動や処置訓練なども実施しているのか。

A

谷川総務課長

過去、防災訓練で消防団員向けの講習会の折にもそういったメニューも入れさせて頂きました。さらに今年6月の自主防災リーダー研修の折にも、この症候群の説明をしました。

また、町は地域の自主防災リーダー育成事業を進めています。その研修で、防災関連の情報としてこの症候群についての啓発を取り入れ、地域への情報提供にも努めたいと思います。

地域防災計画の内、防災知識普及計画に定める各種活動での啓発ですが、現段階ではまだ具体的に実行はしていません。今後、機会を捉えて危険性や対応策について啓発を進めてまいります。



平田弘次 議員

宇多津小学校校区に児童館の建設を

Q

北小学校区にはキッズプラザうたづがあり、施設を利用して放課後児童育成クラブの支援事業を行っています。一方、宇小学校区では空き教室を利用して、学校に近い児童館を建設してはどうでしょうか。

A

亀井保健福祉課長

宇多津小学校区における児童館の設置については、子育てに関わる方からもご要望をお聞きしています。ご質問の中で、学校の近くに児童館ということですが、まずは宇多津小学校の一部を活用して放課後児童クラブ以外の子どもたちが利用できるものがないか、宇多津小学校における空き教室や放課後の状況などを調査した上で教育委員会と協議しながら検討して参りたいと考えています。



Q

中学校の自転車通学

保護者から自転車通学を望む声が多くあります。徒歩通学の範囲をなくし、全員自転車通学にしてはどうでしょうか。

子どもたちの身を守ってあげることが、私たちの役目ではないでしょうか。

A

西山学校教育課長

学校では、自転車通学の基準を「学校から家までの距離が1・2km超」としております。これは徒歩で15分程の距離ですから、妥当でないかと思っております。

安全面では、学校としても特別な事由で許可した場合を除き、日没前に帰るよう、また、複数で帰るよう指導をしています。

やはり学校のルールに従ってやっていこうという観点、駐輪場の設置場所の確保の観点から、現行の運用でご理解をいただけたらと思っております。



宮本 隆 議員

## 少人数数学級への対応と 中学校増築での思案は



大松喜次郎 議員

**Q** 文科省は、来年度から8年で35・30人学級を実現する計画がある。実施の場合に教室が不足する時期はあるのか。

新学習指導要領で内容が増え、習熟度別授業を増やす必要があるが、中学校増築でどのようにお考えか。

**A** 山分教育長

宇多津小学校では不足するようなことはないと思っています。北小学校は、増築している6教室のうち3学級を少人数学級とすれば、普通教室の不足する時期は28年度頃ではないかと思えます。中学校では普通教室自体が不足すると思えますので増築の協議をし、35人学級を想定して計画をしたいと考えています。

習熟度別指導の少人数教室の数ですが、これからの生徒数の推移の中でどの年度の生徒数に設定をして、何教室確保してーといったことは今から検討をしなければならぬと考えます。決して一番最高になる生徒数に合わせて全てを整備する必要はないと思っています。

**Q** ファミリーサポート・センター事業での援助を

会員募集の努力と目標会員数はどうか。また、他市の多くは会員研修を2日間しているが、1日間で良いのか。そして、一人親・幼児・障害児家庭の会員への援助を要望する。

**A** 亀井保健福祉課長

これまで説明会と研修会は各々2回開催しています。会員数は100人を目指しています。また広報紙にパンフレットを折り込んだり、集いの広場等へ周知したり、保育所等へチラシを配付するなど啓発をしています。

研修は1日限りで終わらせるということでなく、毎年定期的に実施するとともに、それ以外にスキルアップ研修などを取り入れながら充実を図る考えです。

また、補助としては免除、割引とありますが、ファミリーサポートだけが、というのはいかがかと考えます。今、子育て家庭全般にわたるものを検討したいと考えています。

## 総務民生常任委員会行政視察報告

### 「すぐやる課」

このインパクトのある課が、今年4月より、東京都葛飾区でも始まった。住民が役所に問合せをした時、どこに相談したらいいのかわからない場合に、迅速、的確に応える総合窓口として設置されたものだ。「すぐ行く、すぐ聞く、すぐ対応する」をモットーにスタートしたが、わずか3カ月の間に810件もの受付があったという。

まず住民から電話があった場合、詳しく内容を聴き、役所で対応できるものは所管の課に迅速に引き継ぎ、判断がつかない場合は、「すぐやる課」が現場を確認し、対応する。

主な相談内容は①蜂の巣②道路修繕③ごみの不法投棄④放置自転車⑤街灯の電球切れ、カーブミラー・標識の隠れ⑥騒音、振動、悪臭⑦公園の遊具の破損

⑧衛生（犬猫、フン害）などで、住民には大変好評で、担当者にとってもやりがいがあるとのことだった。ただ、誠意をもって対応はするが、あくまで区としてできる範囲のことで、「なんでもやる課ではありません」とのPRも忘れない。



## 小学生も医療費無料!?

伊豆の国市は静岡県東部にあり、自然豊かな人口5万人程の市。市では平成17年4月から小学6年生までの児童を対象に、通院や入院にかかる医療費の自己負担分の全額と入院中の食事代の助成を行っている。さらに平成22年10月からは入院について中学生まで拡大する予定。同市の場合、財政が豊かで子どもの医療費については特に力を入れているという。

一方、子育て支援については、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育てへの不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを目的とした「地域子育て支援拠点事業」が実施されている。

公営の地域子育て支援センター（ひろば型）が2箇所設置され、保育士資格を持つ2〜3名の非常勤職員が常駐し、月々金の9時〜16時まで利用できる。利用料は無料、週1、2回程度の行事（子育て講演会、制作、リズム遊び、読み聞かせ、誕生会、季節行事など）を行っている。利用者数は2箇所合わせて、年間のべ1万5千人、相談件数は3百件に上る。

## 建設教育常任委員会行政視察報告

### エコスクールモデル事業

（安城市）

愛知県安城市は、平成10年に「地球にやさしい環境都市宣言」を行い、13年には環境基本条例を制定している。市内の小中学校では、太陽光発電設備を設置し、愛知県産の杉の間伐材を校舎の教室や廊下の腰壁に設置してきている。今までに、16小学校、3中学校で完了し、今後は年間3校ずつ設置する計画である。

そこで、環境教育について、明治川用水より水をひいたピオトーブの整備や壁面緑化も合わせて取り組んでいる、桜井小学校を現地視察した。太陽光発電使用量で全使用量の15%程度を補っている。また、二酸化炭素削減をめざし、「節電タイム」という名前をつけ、教室の照明を行っている。それから、児童は間伐・枝打ち体験をする機会があり、森を守る・木材の再利用といった環境学習に役立っているようである。校長先生の話の中で、環境行政の取り組み方

が子どもの実践教育に活かされており、将来への布石をしっかりと打ちたいという思いを感じた。

### コンパクトタウン（岐南町）

岐阜県岐南町（面積7.9km<sup>2</sup>・人口2万3千人）を訪問し、小さい町の問題等を話しあつた。わが町で遅れている交通弱者対策について岐南町の現状を聞いたところ、

昨年度、巡回バスの利用者は2万3千人で利用者が減り、経費が千5百万円かかることから今年度から福祉目的でデマンドタクシーとした。しかし、予約の必要性・行き帰り時間の問題・プライバシー問題があるようである。また、町内にはゴミ焼却場・火葬場がなく、将来的には合併があるかもしれない。それから、浴室を備えた老人福祉施設が3施設あり、財政の重荷になっているようである。保育所



は2箇所を民営化し、5箇所がそのままである。その他、資源ゴミ・防災センター・国民健康保険についても議論した。総じて感じたことは、外観の財政力指数は企業が多いこともあり1.0を超えているが、実質の出身は過去に財政力に任せて建てた多くの施設の維持費がかさみ、財政運営は硬直化していると感じた。大いに参考にするべきところである。

## 香川県広報発行町議会連絡協議会

7月16日に香川県広報発行町議会連絡協議会の研修会が開催されました。研修会の講師には、香川県の特産品のひとつでもある「うどん柄ネクター」をデザインした県地域振興アドバイザー竹内守善氏をむかえ、今そして今後の議会広報紙のありかたについての講演が行われた。講演の中で、全国議会広報コンクールで入賞された他町の広報紙などを例にあげ、議会の顔や考え方が見える企画、編集方法などや県内の町で議会広報を



発行している6町の広報紙にも丁寧  
にアドバイスをした。ただ、まだまだ全国には素晴らしい広報紙がありますが、わが町の「議会だより」も今後も更に見やすく分かりやすい内容で議会情報を掲載することに注意した紙面づくりに努めてまいります。

## 全国町村議会広報研修会

8月25〜26日、東京シエンパツハサボーで第72回町村議会広報研修会が開催されました。宇多津町議会より2名参加し、2日間議会だよりについて研修を行いました。初日は3名の講師の講演があり、わかりやすい文章表現、表記、読まれる広報紙の作り方、自治体ホームページの活用方法などについてわかりやすい講演をして頂きました。

● 表現、表記においては自分の言いたいことを読み手にわかりやすく伝えるには単に自分の言いたいことを言うだけでなく、読み手がその文章を読みながらどのように思うか、どのように感じていくかを推測しながら書く態度が必要である。

● 読まれる広報紙は、季節やタイミンが当たっているか、マンネリ化していないか、定番企画の中にも新しい視点や切り口があるか、単なるお知らせでなく価値ある情報に加工できているか。

● 自治体ホームページの活用では、インターネットの特性を利用することが大事であり、いつでも

自由に情報発信ができる、どこからでもアクセス可能、情報量に制限がない、映像画像での情報提供が可能など多くの特性があるので広報誌や議会だよりをホームページのコンテンツとして活用することが大事であり、一方通行の情報発信の時代は終わり、誰でも手軽に情報発信できる環境が整っているのもっと活用することが可能。

2日目は、全国の議会広報クリニクで、良く出来ている議会だよりもあり、参考になることも多くありました。少しでも研修を役立て、読まれる議会だよりを作ってまいりますので、ご意見や感想などがありましたら遠慮なくご連絡下さい。



# 議会日誌

## 8月

4～6日 建設教育常任委員会行政視察  
12日 定例議員総会  
20日 議会運営委員会  
25、26日 議会広報全国研修  
31日 議会運営委員会

## 9月

3日 全員協議会  
7日 第3回定例会本会議、議会運営委員会  
9日 一般質問、議員総会  
10日 /  
13日 総務民生、建設教育合同委員会、  
議会運営委員会  
14日 総務民生常任委員会  
15日 建設教育常任委員会  
16日 全員協議会、本会議、議員総会

## 10月

5日 定例議員総会、総務民生常任委員会  
29日 県内町議会議員研修

### 議会広報特別委員



大松喜次郎委員 宮本 隆委員  
西本弘子副委員長 香川虎生議長 平田弘次委員長

より船内だけを見るのではなく、大きな海の四方をよく見てこれからの4年間の航海をお願いするとともに船員と乗客も協力して4年後には宇多津丸が一回り大きな船になっているように頑張っていきたいと思います。(T・M)

## 表紙の言葉



10月16日、宇多津中学校の文化祭がユープラザうたづで開催されました。午前中は、坂出高校の吹奏楽部の演奏と、中学生のベトナム海外派遣の発表会。午後はクラスごとの合唱発表、恒例になっているPTAと先生方の合唱がありました。

どのクラスも文化祭に最高の合唱ができるよう、早朝や放課後にクラスが一つになって練習を行ってきたのが伝わってくる感動的な歌声でした。またPTAと先生方も少ない練習時間の中、生徒に立派な合唱を発表することができたのではないのでしょうか。

来年の合唱コンクールも素晴らしい歌声を聴かせてくれることを期待しています。

### 開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会などの開催 ● 各委員会による調査・研究など

### ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

### 編集後記

10月20日より新しい舵取り役のもと、宇多津町が船出いたしました。現在の不況の嵐の中、宇多津丸には荒海を無事乗り越えて住民が安全で安心できる航海をしてもらいたい。その為に議会もできる限り協力し、宇多津丸の乗客に「この船はすばらしい」と思ってもらえるよう船長を先頭に船を航行する議会、職員、皆で乗客を守っていかなくてはならないと感じています。船長には大きな責任があり、何より船内だけを見るのではなく、大きな海の四方をよく見てこれからの4年間の航海をお願いするとともに船員と乗客も協力して4年後には宇多津丸が一回り大きな船になっているように頑張っていきたいと思います。(T・M)